

雄勝地区

2月20日(土)、雄勝公民館で、自主防災研修会が行われました。

雄勝地区自主防災連絡協議会と石巻市社会福祉協議会ボランティアセンター・雄勝が主催し、みやぎボランティア総合センター所長が講師を務めました。

当日は、雄勝地区の自主防災会役員・地域福祉推進委員・民生児童委員・ボランティア団体約50人が参加し、災害の直後に一人ひとりがしなければならぬことを再認識し、高い確率で発生する宮城県沖地震とそれに伴う津波災害などに備えるための知識を深めました。

自主防災研修会開催



河北地区



マツチ一本 火事のもっと!

3月1日(月)、春の火災予防運動の一環として、消防音楽隊の音楽に合わせ、消防団・婦人防火クラブなどの消防関係者や河北幼稚園の園児など総勢約250人が河北総合支所前から飯野川商店街を通り、河北幼稚園までを「火の用心 マツチ一本火事のもっと」と元気にパレードをしました。

なお、毎年注目される一日消防署長には、河北幼稚園の遠藤裕子先生が選ばれ、笑顔いっぱい火災予防を呼び掛けていました。

桃生地区

2月17日(水)、長生大学卒業式・修了式が桃生公民館文化ホールで行われました。

式では、各学年の代表者に修了証書、皆勤賞が授与され、卒業者には一人ひとりに卒業証書が授与されました。

長生大学は、桃生公民館が生きがいづくりを目的に、4年制の大学と大学院を開講しているものです。

書道やカラオケなど4つのコースに分かれ、月に1、2回ほど学習してきました。

今年の受講者数は、第1学年から大学院生まで合わせて73人で、このうち59人の方が卒業または修了しました。

一年間の学習を終えて



河南地区



しっかりと受け継ぎます!

3月12日(金)、須江小学校で、地域に古くから伝わる民俗芸能「須江獅子舞」を上級生から下級生に引き継ぐ伝承式が行われました。

6年生30人が見事に息の合った演技を披露した後、5年生48人に獅子頭や笛を手渡しました。5年生は、この日の初舞台のために1月から一生懸命練習してきた成果を6年生や保存会の代表らの前で堂々と披露し、頼もしい姿を見せていました。

本格的な練習は7月ごろから始まり、毎年、地区の敬老会や市民まつりなどで披露され地域の皆さんに大変喜ばれています。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

牡鹿地区

まだ雪の散らつく2月中旬、鮎川浜の渡辺みき子さん宅にて、このし雛が今年も飾られました。

このし雛は、渡辺さんが6年ほど前から、自分や家族の着なくなった着物や浴衣などの布を利用して、雛人形や手毬、花、魚介類、野菜、果物など身近なものを題材に「しつぽ」と手作りし、今では部屋いっぱい色とりどりの人形達がきれいに飾られ、とても華やかな雰囲気を感じています。

渡辺さんは「これもみな、家族の思い出の話だった古布なので、一つ一つ愛着があります。布を見ると次は何を作るのかと考えるのが楽しみが、と話っていました。



北上地区



先輩、車いす届けだよ!

2月23日(火)、橋浦小学校の児童会が特養きたかみに車いす1台を寄贈しました。

97人の児童を代表して計画委員会の5人が特養きたかみを訪れ、出迎えた入所者に車いすを手渡しました。そのメンバーの一人である佐々木美月さんは「8年間集めたブルタブが、体の不自由な人たちのためになつてうれしいです」と話していました。

「8年前にブルタブを集めた生徒たちも今はもう二十歳です。ようやくその思いがかないました」と先生も感慨深げでした。

石巻地区

石巻駅前から石ノ森萬画館までの通称「マンガロード」に、最近、新しい仲間が増えたのをご存知ですか?

これまでの、あいづラザ・石巻前の仮面ライダー1号や立町ポケットパークのサイボーク009などのモコモコに加え、キカイダーやアカレンジャーなど11カ所13体が新たに仲間入りし、街中を華やかな雰囲気にかわっていきま。

ぜひ、街中を散策して新しいモコモコを探してみたいですね。



新しい仲間もっ見つけましたか?

安全・安心のまちづくり



3月8日(月)、J.R石巻駅北側駐輪場で「安全・安心防犯ロード」運用開通式が行われました。

市道の駅前北通り2・開北一丁目線の約300mの区間に整備された「防犯ロード」は、高照度防犯灯緊急報知機、広報用表示板が設置されました。

式では、駅前北通り親和会の木村会長さんが「石巻駅前北側は、ステーションブリッジができてから年々利用者が多くなっています。この防犯ロードが整備され、防犯意識がさらに高まり、犯罪の無い、安全・安心なまちづくりを地域の皆さんと進めていきたい」と話していました。